

山岳遭難の防止に向けて

しっかりと計画を立てて登山に臨みましょう

■ 登山計画の策定

登山計画は、できる限り参加者全員で立て、日程やルート、装備品等を全員に周知しておくことが大切です。

● 日程・ルート

最も体力や経験が少ない人を基準にルートを選ぶほか、日程に余裕のある計画を立てましょう。

● 装備

低い山であっても侮ることなく、スマートフォン（携帯電話）と予備バッテリー、ラジオ、地図、方位磁石、非常食、ライト、雨衣などを準備しておきましょう。



■ 登山届の提出

登山計画を立てたら登山届を作成し、家族や職場、所属する山岳会、入山地を管轄する警察署（管轄署が不明な場合は警察本部地域企画課）に提出しましょう。万が一、遭難したときに、捜索の重要な手掛かりとなります。

● オンライン登山届受理システム「コンパス」をご存じですか？

兵庫県警察では、公益社団法人日本山岳ガイド協会が運営するオンライン登山届受理システム「コンパス」に提出された登山届の情報を遭難者の捜索等に活用しています。

「コンパス」を利用すれば、インターネット上で簡単に登山届を作成・提出することができます。

「コンパス」には、兵庫県警察のホームページや下記のURL等からもアクセスできますので、ご利用ください。



URL	二次元コード	検索ワード
http://www.mt-compass.com		登山のコンパス <input type="button" value="検索"/>

安全な登山に向けて

■ 登山は「万全な体調」で

毎年、登山中の体調不良による山岳遭難が発生しています。

登山には万全の体調で臨み、体調不良時は登山を控えましょう。

また、登山中も水分等の補給に努め、体の不調を感じたときは直ちに登山を中止し、状況によっては救助を要請しましょう。

■ 無計画な登山や安易なルート変更はやめましょう

県内の山岳遭難で、一番多いのが「道迷い」です。

日が暮れて道が分からなくなったり、急にルートを変更して道に迷ったりするケースが散見されます。

知らない道や暗闇の中で危険な目に遭わないためにも、安易なルート変更は控え、計画的な登山に努めましょう。

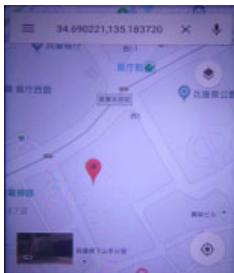


通報時の注意点

■ 「119ばんつうほうプレート」をご存じですか？

六甲山等の登山道には、「119ばんつうほうプレート」が設置されており、通報時にプレートの番号を告げるだけで、通報者の位置が分かります。

警察は消防と連携していますので、110番通報時にもこの番号を教えてください。



■ 地図アプリ等によりGPS情報の取得ができます

携帯電話の位置情報（GPS）サービスの設定をONにした上で、Googleマップ等の地図アプリにより位置情報を取得することで、より正確な位置情報を知ることができます。表示された緯度・経度を110番通報時等に伝えることにより、迅速な救助活動につながります。

■ ヘリコプターに合図してください

警察や消防では、山岳遭難者等の捜索救助活動にヘリコプターを活用しています。

捜索のヘリコプターが近くまで来れば、ヘリコプターから発見されやすいように、次のような合図を送ってください。

- 目立つ色の物で、大きく合図する。
- 鏡やライト等でヘリコプターに光を向ける
- 樹木が密生している場所を避け、広場等で合図する。

